

# 子どもを主人公に 地域で育ちあう力を創る！



「子どもと親のたまり場」で支えあいながら子どもも大人も育ちあう～  
「みんなのはらっぱ」代表の森ようこさんに聞く。

日野市の子育てひろば「みんなのはらっぱ」は子育て中の人子どもと一緒に過ごせる居場所として、市民の手によって運営されています。親も子どもも地域のつながりの中で一緒に育ち合うことをめざしています。主催のNPO法人日野子育てパートナーの会理事長の森ようこさんにお話を伺いました。

## 子育てをしていた時に周囲の人たちに助けられたことが今の自分の原点

私も夫もフルタイムで働きながら子育てをしていた時は本当に大変でした。でもその時に周囲の人たちに助けられた経験が、今の原点になっています。同じように働いている親同士で保育園のお迎えを頼み合うような仲間をつくりました。子どもの友達のお母さんや近所の人にもお世話になりました。残業の時は夕飯を食べさせてもらったり、お風呂にいれてもらったり、閉店間際の買い物客の私達親子に商店街の人達がやさしく声をかけてくれたり、ちょっとでもお世話になった人を数えたら千人を越えるんじゃないかしら。子どもにもたくさん友達ができました。みんなに親切にされて、人間が好きな子に育ててもらったと思っています。私にもたくさんつながりができました。そのつながりが、保育園でも学童保育でも学校でも生かされて、行事ひとつやるにしてもみんなで盛り上がり子どもも大人も一緒になって楽しみながら子育てができたなあ、と思っています。親と子だけの閉ざされた関係では子育てはできない、ということを実感しました。日野市の「子育てパートナー養成研修」に応募したのも、たくさんの人にお世話になった恩返しというか、自分なりに地域で子育ての応援ができないだろうか、という気持ちからでした。

## 「子どもと親のたまり場」として気軽に利用できる場所にしたい

それでも、最初は不安でした。「子育てパートナー」って聞こえはいいんですが、実際のところ何をやるんだろうって感じてました。研修でカナダのファミリー・リソースセンターについて学んだ時、私達もみんなで力を合わせて、地域に親子で気軽に通える「子どもと親のたまり場」をつくりたい、と思いました。

子育てに疲れたり、ストレスを感じているお母さん達がホッとひと息つける、子どもは子ども同士でたっぷり遊べる、そんな場所にしたい。子育てパートナーは、来ている子どもや親が緩やかにつながれるように橋渡しをしたり、育児の不安や悩みを気軽に相談できる存在になろうと話合い、研修中から準備を始め、修了間もなく「みんなのはらっぱ」をスタートさせました。初日からたくさんのお母さんが来てくれました。子ども連れで遠慮なく出かけられる場所が身近になく、孤独の中で育児に不安を感じている人ってほんとうに多いんだなあ、改めて感じました。

## 子育てを一人で抱えないで

間もなく満2年になりますが、毎回40家族をこえる人たちが遊びに来ます。子どもにとっては、どんなに騒いでも、思いっきり走り回っても、誰にとがめられずに安心して遊べる場所、親にとっては、家で親子が顔を突きあわせているより気持ちが楽で、ゆっくりのんびり過ごせるし、子育ての交流ができるというのが一番の魅力だと思います。「はらっぱ」に初めて来た人も、子どもを通していつの間にかうちとけて、子育てで困っていることを相談しあったり、交流しあったりしています。

「はらっぱ」には、0歳から幼稚園入園前の子どもたちがきますが、異年齢集団で遊ぶことはいろいろな意味でプラスになります。2～3ヶ月の赤ちゃんがそばに居る子の手をつないだり、1～2歳児が自分より小さい子をあやしたり、おもちゃの取り合いで泣いたり泣かせたりしながら関わり合っているんです。こんな体験は、家の中だけで子育てをしてはなかなかできないと思います。

今、一人ぼっちで子育てをせざるを得ないお母さんが多いようです。夫が子育てにかかわれず、子育ての重圧に押しつぶされそうな人も少なから

ずいます。24時間一人で子育てを背負い込んでいけば、ストレスがたまるのは当然。「自分の時間が持てないのは子どもがいるから」「産むんじゃないかった」と気持ちにゆとりがなくなってしまうこともあるでしょう。そういうときこそ「はらっぱ」にきてほしい。初めて来たときは、重く暗い表情をしている人も、いつの間にか顔がなごんでいきます。息もつけないほど子育てと家事に追われていても、他の人と話してみれば、大変なのは自分だけではないと気が楽になったり、子どもから一時的にでも離れて、ボーッとするだけでも解放されるんですよね。母親の孤立感って根の深い社会的な問題ですね。

## 学びあいと支えあいで地域で子育てを支えるつながりを

毎回「はらっぱ」に初めて来る人が5～6組いますが、ほとんどが口コミです。近所に「この人もしかしたら大変なんじゃないかな」って思える人がいたので、思い切って声をかけて誘った、っていうお母さんもいます。自分が体験してよかったことは人にも、と思う気持ちがうれしいじゃないですか。若い人達って、すごい行動力があると思います。私たちパートナーも、若い人達との協働関係の中でたくさんのお母さんのことを学ばせてもらっているんです。

パートナーも利用者も区別なく地域で子育てをしていくつながりが「みんなのはらっぱ」を支えるようになってきていると思います。子育てが一段落したら、「私も子育てパートナーになりたい。」と言ってくれるお母さんたちも現れました。0歳からの子ども世代、20代、30代の親世代、40、50代の先輩親世代、60、70、80代の祖父母世代まで「みんなのはらっぱ」が異世代交流の場になっていくのも間もなくですよ。



## 子育てひろば 「みんなのはらっぱ」(日野市南平)

平成15年5月に日野市南平の日野市南平駅西交流センターを会場にスタート。対象は子ども(0歳～幼稚園入園前)とその保護者で、毎週火曜日の午前10時30分から午後2時まで実施している。この一年余りの期間で、350家族が利用している。参加費無料。誰でも利用できる。運営は「NPO法人日野子育てパートナーの会」(電話042-593-1712 森ようこ)



和気あいあいと遊び、交流する親子